

今、心配していること

国民の大多数の期待が込められた(?)「民主党政権の誕生」だったが、内政・外交の失策があまりにも多すぎて、どこから手をつけていいのやら。

内政について言えば、最大の失策は鳩山を総理にしたことにより、せっかく沖縄本島内への普天間基地の移転話が、まったくの水泡に帰してしまって混乱させただけである。日米安保にも当然影響してくる。首相になってから学習するにつれて抑止力になることが理解できてきた、などノー天気なことを語る。八ッ場ダムの話では強硬に建設中止を言いながら結局は先送りである。法務大臣に到っては、2人続けて出来損ないを据えたから国民の猛反発（実はマス・メディアが騒いだけで、という面もある。しかし西村眞悟さんによれば、まあ麻雀好きなヤツでんな！ これでは学生並みじゃないか！）を招いてクビにせざるを得なくなった。大臣の資質どころか人格を疑うようなのを国の代表にすることが間違っている。事業仕分けでは肝心の科学技術を切り捨てて、本丸に入らないのでは、せいぜい数億、よくて数十億の節約にしかならない。おまけに強制力がない、などという「何の為の仕分け」なのかわからなくなってしまってい

る。民間人なら切り捨て、国会議員がでてくれば回復。あまりのいい加減さに誰しも驚く。裏の総理と言われて評判の悪かった官房長官に到っては、**自衛隊を「暴力装置」と呼んだ**。バカかこいつは！敵が力で攻撃してきたとき、社会党のように「話し合うぞ！」とでも言うのか？ 攻撃をうけたら「話し合っているうちに」国が蹂躪されてしまう。暴力には同等以上の攻撃力をもって報いなければ国が滅んでしまう。そのための自衛隊（軍隊）ではないか！ もう内憂外患のためにパニックに陥っているのだろうか。何をしなければいけないのか、何を語らなければならないのか、混乱しているのではないか。

財務省もひどい。陸上自衛隊を 7000 人削減せよ、と言う。冗談じゃない！ よその国は軍隊を拡充し、年間の軍事費が年々増加しているのに対して、日本はその逆を行く。日本がなくなれば、財務省も経済も何も無い。**消滅する**だけである。こんな簡単な理屈がわからないのだろうか。・・・経済政策も全く機能していない。単に子供のいる家庭へのばらまきをただだけで、円高を何とかしてくれと言っているのに、日銀もちょっとだけ介入の真似事をしただけで、本気で取り組もうとしない。

外交がまた輪をかけてひどい。ハイチの大地震への対応のまずさ。消防隊の方がはるかに国を代表する気構えがある。

最大の失点は尖閣諸島の問題で、自国の領海・領空を侵犯されながら相手国に対して何もいえない、何も報復しない。ビデオが流出したと大騒ぎするが、もともと国民全体が知っておかねばならない問題じゃないか。なんの実力行使もしなければ相手に舐められるだけである。現実はそのように動いた。政権をとったとき百数十人が「朝貢外交」にかけつけたのなら、そのリーダーは太いパイプがあると考えるのが普通である。しかしどのようにも動かなかったから、本当はパイプなどなかったのだろう。もしあったとして、何も「日本国」のためにしなかったのなら、単に政敵が失脚するのを待っていたとするなら、私利私欲を優先した、それこそ国家を危うくする**国賊**である。

すると、日本という国は自国の領土を侵犯されても何も言わないから、今のうちに**再度確認させるために**、とロシアの大統領がわが国の領土と主張している北方領土にはるばるとやってきた。(ロシアの常套手段である。敗戦を認めているのに勝手な理屈で他国を蹂躪してきた国で、羞恥心などかけらもない国家である。ヨーロッパで

はロシアと条約を結んでも常に一方的に破棄されてきた歴史がある。) 恥ずべきは総理・外務大臣なのに、あろうことかロシア大使が絶対に大統領は動かないと断言したとあって更迭したことである。

更迭するなら自分たちだろう。

レア・アースの輸出を禁止するのは、大東亜戦争で米国や英国が石油の輸出を禁じ、日本の米国での資産を凍結したのと同じ発想である。ただ一国からの輸入に（相手を信じ切って）安穩としていたのなら、政治というものがない。モンゴルなりアフリカ諸国と共同開発をしておくべきだったのであるが、(これはまあ自民党政権からのことだから、現政権の所為ばかりでもないが。) なんのアクションも起こしていない。・・・レア・アースだからしばらくの猶予はあるが、もしこれが日々の食べ物だったなら、もっと大騒ぎするだろう。何十年も前から食糧自給率が40%の国などいわゆる「先進国」であるはずがない。そのくせ減反政策や青田刈りさせたり、逆に諫早湾を干拓し始め、現政権になって中止したり、その都度振り回される農家が怒るのも無理はない。そのときの「機嫌」で政策を変えられるようなものである。本当に一揆が起こったとしても不思議ではない。

曾野綾子さんの貧乏の定義：その日の夜、食べる

ものがないこと。・・・これを思えばまあよしとしますか。

世界中の国が日本に**好意的**であるはずがないし、親近感をもっているわけでもない。国によってはあわよくば、と狙っているかもしれない。まさに**世界は腹黒い**（高山正之氏）のである。

藤原正彦さんが、菅のことを、新防衛大綱を作り対中国の国防案をつくったことと、科学技術予算の増額を決めたことを珍しく誉めておられるが、この男には国あるいは国家をどういう方向に持って行きたいなどといった殊勝な心掛けはないはずですよ。防衛大綱は尖閣諸島のビデオ流出に対する言い訳のようなもので、自衛隊を強化しようなどとは思っていないはずである。科学技術予算にしても、事業仕分けでアホが「2番じゃだめなんですか？」これが流行語になるほど批判に曝されたことから思いついただけのこと。いまだにこの男から「この日本をどうしたいのか」が見えて来ず、国策・国威発揚より党利党略を優先することしか発想にないらしい。

あるシニカルなお笑い集団が言う、菅の真似をしながら「えー、わたしは総理大臣になりたかったのが夢で、それがかなえられたから、もうすること・したいことはありません。(爆笑)」・・・国家機密漏洩罪だな。・・・これは民主党の若手議員も語っていた。

40兆円の税収で90兆円の予算を組むなど、とてものことに考えられない。で格付け会社が日本を2段階ほど下げたことに対しても「私はその点については疎いので・・・」日本が世界からどう見られているかに気づくべきところ、私は理解できません、と言っているようなもの。

2010年11月、北朝鮮が突然、韓国の領土の小島を攻撃した。韓国の反撃は当然であるが、その流れによっては、日本も緊急の自衛隊動員も視野に入れて行動せねばならない。何をしたかといえば、本来できないはずの朝鮮高校への援助を打ち切る。・・こらあかんわ。国家公安委員長など、事態の重大さも理解できずのほほんと時間を浪費していた。このおばちゃんも韓国で反日デモに参加したり、社会党の流れから危機意識皆無で、村山某と変わらない。どこの国の政治屋なのだ。なぜこんなのを大臣にしたのか理解に苦しむ。余程の人材不足なのか？菅が「冷静に情報を収集し、ことあれば即座に対応できるように指示しました。」すると小泉元首相の息子が嘔み付いて、「そんなことより以前に、まず北朝鮮の暴挙を批判することが大事でしょうが！」・・・正論で、1年生議員のほうが菅よりはるかに大局観をもっている。

そうそう大変なことを忘れるところであった。領空・領海どころではない。「領土」が外国人に買い占められているのだ。北海道教組など北方領土返還のお膝元なのに、「竹島」を韓国領土と子供たちに教えているという（要は歴史認識がなっていない、無知ゆえであるが）、まことにマヌケな話である。（別に書く予定）しかしそれどころではない。

たとえば韓国に最も距離が近い対馬列島の土地が韓国の大資本に買い占められているという。（これは自民党政権の時かららしいが）そしてこれに対して法整備も何も手がつけられていないという。土地所有者にしてみれば遺産相続税を払うためには、相手がだれであれ、土地を買ってくれる人がいい人なのである。こんなもん、「国が買い上げてやればすむ」ことではないか。いずれ、土地の占有率からみて、対馬は韓国領だと言い出しかねない。

北海道の原野商法といえば、詐欺の舞台になったところであるが、ここの原野と水源地を買いに来ている外国人が最近増加しているという。もともと中川昭一さんかが必死で拒絶していたらしいのだが、彼が亡くなってからはだれも歯止めをかけることなく、北海道知事も何もしない。何も考えていないようだし、危機感もないらしい。

こういう「日本の領土」を外国人に売却することを禁止することは国家レベルで考えなければならないのに、法整備もできていないし、その予定もないらしい。与党野党を問わず、超党派でただちに禁止することを決定しなければならないのに、ノーマジな政権や。日本を切り売りするつもりなのか？

かつて高杉晋作が、長州の彦島を租借したいと英国が言ってきたとき、通訳の伊藤博文を介して「そもそも日本国はイザナギ・イザナミから始まり、・・・」と日本の歴史を 1 時間半くらい講釈し、結論は「だから一坪たりとも外国に与えるつもりはない！」というつもりであったらしい。さすがに英国公使は、途中で音を上げてその案をひっこめたという。このレベルの政治家がひとりもないのは、まことに日本の不幸であり、この程度の国民にこの程度の政治屋・・・まあ情けない！

というのが、私の今の心配事であり、日本の現在と将来を憂うものであります。誰やらが書いていたように、「これでも民主党に投票しますか？」

2011.02.01.